静岡新聞で学ぼう

静岡新聞

目で見る 浜松経済

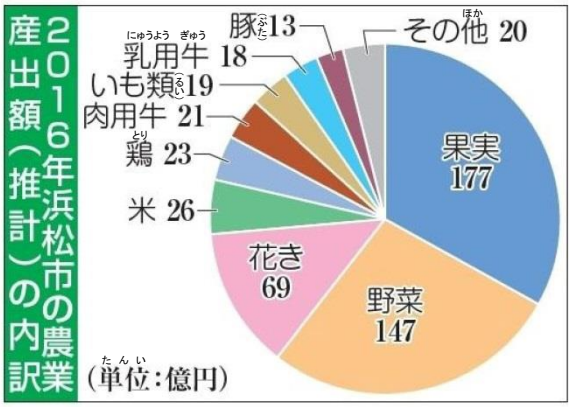
農業の一大産地

浜松市の2016年農業産出額は533億円と全国の市町村で7番目に多かった。近年は、14年が484億円、15年が510億円と増加傾向にある。

内訳は果実が177億円（33％）と最も多く、野菜の147億円（28％）、花きの69億円（13％）と続いた。全体の7割超を占めるこの3品目が浜松農業の主力となっている。

特に果実と花きは全国トップクラスの産出額を誇る。果実はミカン、温室メロン、ネーブルなど、

ブランド化推進・発信を



花きは日本一のガーベラをはじめ、菊、バラなどが栽培されている。

多くのミカンは奥浜名湖の温暖な気候風土の中、湖岸を見下ろす山の中腹で栽培されている。近年ではミカン狩りなどの観光事業、ワイン、そうめん、ジュースなどの特産物づくりにも力を入れる。

ガーベラの生産の中心は舘山寺や庄内地区など浜名湖周辺だ。生け花用が主体だった時代には使いづらさもあったが、フラワーアレンジメントが盛んになり市場性が高まった。

浜松は日照時間が長く、温暖な気候のため多種多様な農作物が栽培されているが、意外と市民には知られていない。ミカンやガーベラのようにブランド化を図り、内外に発信していく努力がいっそう必要だろう。

（しんきん経済研究所）

2018年7月19日　朝刊　西部版

①浜松市の農業産出額の1番から3番までの品目を書きましょう。

［　　］［　　］［　　］

②浜松市で、多様な農産物が栽培される理由を書きましょう。

［　　］

年　　組　　名前

（小学校中学年以上・中学校　社会・総合）